

第46回 システム実用化WGにおける 車車・路車・歩車間通信技術に関する施策についての議論要旨

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">議事要旨</p>	<p>○H28年度施策の総1①②③（車車・路車・歩車間通信技術）について当該受託会社から実施内容の説明あり。主な内容は次の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総1① 施策「車車間通信・路車間通信技術」 合流シーンを題材とした通信の品質状況の把握と対策案の検討を中心に実施。 ・総1② 施策「歩車間通信技術」 高精度歩行者位置測位、危険度推定および端末の小型/統合化に関わる技術開発を中心に実施。 ・総1③ 施策「インフラレーダーシステム技術」 複数のレーダーの統合および干渉抑制、車種の判別技術、および気象条件に対する性能見極めを中心に実施。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">WGでの主な議論</p>	<p>(1) 総1① 施策「車車間通信・路車間通信技術」受託者説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の技術開発項目が何故抽出されたのか理解されるよう、課題の整理と優先順位の考え方を示すこと。 ・前提条件を置いた上で、既存通信で、できることとできないことを明確化していくこと。 <p>(2) 総1② 施策「歩車間通信技術」受託者説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者端末の実際の利用シーン（かばんに入れるなど）や歩行者の動きを念頭に置いて、開発を進めること。 ・議論の過程で、ネットワークを介してダイナミックマップへ情報を集約し、付加価値を生成するような考え方も示されたが、主たる機能のリアルタイムな歩行者と車両の直接通信による安全支援であることを確認した。 <p>(3) 総1③ 施策「インフラレーダーシステム技術」受託者説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの検討結果を基に、目標性能を定義し達成度合いがわかるようにすること。 ・すり抜けや物陰からの飛び出しなど実際の交差点での危険なシーンを想定し性能定義を行うこと。